

会 議 録

会議名	平成28年度第1回相模原市障害者自立支援協議会			
事務局 (担当課)	相模原市社会福祉事業団 障害者支援センター松が丘園 電話 042-758-2121			
開催日時	平成28年7月27日(水)午後3時~午後4時10分			
開催場所	障害者支援センター松が丘園3階・研修室			
出席者	委員	出席16人 欠席6人		
	その他			
	事務局	4人 市：障害政策課 1人 社会福祉事業団：地域支援課長 他2人		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 研修について (2) 部会報告 4 事務連絡 5 閉会			

平成 28 年度第 1 回相模原市障害者自立支援協会委員出欠状況

No	区 分	所属・職	氏 名	出欠
1	障害者等関係団体	相模原市障害福祉事業所協会 会長 ((福)風の谷 常務理事)	なかじま ひろゆき 中島 博幸	出
2		相模原市障害福祉事業所協会 会計 ((福)らっく 理事長)	すずき すみえ 鈴木 純恵	出
3		相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長	すぎたち 杉立 あくね	出
4		橋本障害者地域活動支援センター ぷらすかわせみ 施設長	なかたに まさよ 中谷 正代	出
5		(福)相模原市社会福祉協議会 福祉推進課長	たどころ まさし 田所 雅	出
6		相模原福祉オンブズマンネットワークス スーパーバイズオンブズマン	わたなべ ゆきお 渡辺 幸雄	出
7		相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	えもと すすむ 江本 進	欠
8	指定相談支援事業者	相模原市障害福祉事業所協会 総務 (くりのみ学園 施設長)	いまい やすのり 今井 康雅	出
9		子ども相談支援リボン	ちや ふみこ 千谷 史子	出
10	障害者等及びその 家族	特定非営利活動法人相模原市障害児者福 祉団体連絡協議会 副会長	はねだ ひさし 羽田 彌	出
11		特定非営利活動法人相模原市障害児者福 祉団体連絡協議会 役員	しまもり まさこ 島森 政子	出
12		特定非営利活動法人相模原市障害児者福 祉団体連絡協議会 役員	かたおか かよこ 片岡 加代子	欠
13	保健・医療関係者	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 (北里大学東病院 医療ソーシャルワ ーカー)	だいなか たく 堤中 拓	出
14	教育関係機関の職 員	神奈川県立相模原中央支援学校 支援連携グループ長 総括教諭	はしづめ みつこ 橋爪 美津子	出
15		教育局学校教育部学校教育課担当課長	まつだ ともこ 松田 知子	欠
16	関係行政機関の職 員	健康福祉局福祉部障害政策課長	さとう ひろし 佐藤 洋	欠
17		健康福祉局福祉部精神保健福祉センター 所長	ししくら くりえ 宍倉 久里江	欠
18		健康福祉局福祉部南障害福祉相談課長	いしづか しょうこ 石塚 祥子	出
19		健康福祉局福祉部療育相談室長 (兼) 発 達障害支援センター所長	やまくち まさと 山口 正人	出
20		健康福祉局子ども育成部緑子ども家庭相 談課長	たにはた はま江 谷畑 はま江	出
21		健康福祉局子ども育成部児童相談所	きこう けんた 酒匂 健太	欠
22	学識経験者	田園調布学園大学 教授	むらい ゆういち 村井 祐一	出

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会長挨拶

・津久井やまゆり園で起きた事件にて、被害に遭われた方へ深く哀悼の意を表し、黙祷をした。

・新規委員の紹介

橋爪委員、杉立委員、酒匂委員

3 議事（ : 会長、 : 委員、 : 部会長、 : 事務局の発言）

（ 1 ）研修について

資料を基に説明をした。

現在に至るまでの自立支援協議会の経緯を振り返り、活動内容を広く伝える研修とする。関係者に研修参加の呼びかけをお願いしたい。

（ 2 ）各部会の報告

ア 権利擁護・虐待防止検討部会（岸部会長）

< 報告内容 >

障害者の権利擁護・虐待防止に関する取組状況アンケート調査について、資料を基に説明した。

< 質疑応答/意見 >

基礎情報の欄には、いつ時点での数値かということが明確となるように、日付を明記したほうがよいのではないかと。

追記する。

虐待防止・権利擁護研修についての周知方法として、相模原市障害への理解を進める情報発信サイト「さーくる」が挙げられているが具体的にはどのような研修か。

家族向けの研修を企画している。9月1日に掲載できるように担当者から連絡する。

イ 相談支援技術向上部会（事務局）

< 報告内容 >

横浜市、川崎市では相談支援従事者の人材育成プランを作成している。当市も作成する予定である。相談支援に関する課題について、様々な議論が行われ

た。主に、官民協働、民民連携を図るためには、相談支援従事者の人材育成が必要である。相模原市では相談支援従事者の入れ替わりが多いため、継続してキャリア形成していくことが難しい。相談支援専門員は本来、基本相談に重点を置くべきであるが、計画相談等の書類作成が中心となっている現状がある。今後のスケジュールは、目次案の検討、相談支援人材育成プラン案検討、研修体系の検討となっている。

ウ 相談支援事業所等連絡・調整部会（中谷部会長）

< 報告内容 >

- ・相模はやぶさ学園から、福祉と教育について情報共有をしたいとの依頼があった。個別支援検討・連絡会にて検討する。
- ・個別支援検討連絡会で検討された課題がどのように施策に反映されているのかとの問い合わせがあった。現在まで、自立支援協議会で検討されたことがキーステーション、基幹相談支援センター等の設置に繋がった。施策提言については今後の課題である。
- ・事例集はワーキングチームで検討している。

< 質疑応答/意見 >

福祉と教育の連携が課題にあがっているが、事例検討が進んでいない状況がある。支援教育ネットワーク協議会の検討事項を伺いたい。

支援教育ネットワークは平成20年度から市内小中学校、学識経験者、福祉関係等関係機関で情報を共有している。昨年度は、発達障害の手引書を作成し、配布した。また、送迎支援が検討されている。社会資源を纏め、ポスターを掲示している。その他支援教育推進プランを土台とし、来年度個別支援教育を協議する。

相模はやぶさ学園からの課題は何か。

今後、課題を提起する予定である。

福祉と教育の連携は今後のテーマである。

相談支援専門員の役割、連携は図式化すると明確になるのではないか。

事例集は誰が、どのように、どの場所で使用するのかを定めたらどうか。

難しいものではなく、シンプルな書式で事例共有ができるとよい。

4 事務連絡

今回の津久井やまゆり園で起きた事件で衝撃を受けた利用者、ご家族、職員の心のケアが大切である。

市ホームページに掲載しているが、こころのケアの相談を受けている。

相模原市心理士ネット（任意）にて、臨床心理士がサポートする。ご希望の

方は事務局に連絡を頂ければ調整する。

次回開催

日時： 平成28年10月25日(火) 午後3時~午後5時

場所： 障害者支援センター松が丘園 3階 研修室

5 閉会

以 上